

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

平成30年5月11日

長野地域振興局

提出区分	実績						
整理番号	3	課題区分	C				
実施機関	長野地域振興局			担当課	所属	商工観光課	
事業名	長野果物語りで魅力ある地域づくりを目指す (インバウンドの促進)				電話	026-234-9527	
					E-mail	nagachi-shokan@pref.nagano.lg.jp	
事業の概要等	目的 (目指す姿)	果物の生産量が多いという地域特性を活かし、果物を観光・加工食品開発の資源として位置付け、農業、商工業及び観光等の活性化を図る。					
	現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・北陸新幹線により首都圏・北陸・関西圏との近接性で優位 ・産業の強み(果物産出額、食品・飲料の製造品出荷額) ・オリンピック開催地としてのNAGANOの知名度が高い ・地域活力を維持するための地域経済の活性化が課題 					
	内容 (変更後の内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・果物を活かしたインバウンドの促進 地域の強みを活かし、外国人旅行者向けに魅力ある周遊プランを構築 <ol style="list-style-type: none"> ①果物狩り農園、体験メニュー受入れ団体、ツアー窓口など受入態勢の整備 ②インバウンド商談会への参加等 ③ファムトリップの実施等 ④広報活動等 ⑤「講演会」、観光案内所職員の「情報交換会」の開催 					
	事業期間	平成29年4月1日		～	平成30年3月31日		
	成果目標	外国人観光客数及び観光消費額の増加					
事業費	1,720,250 円					(単位:円)	
事業費等	節区分	主な内容	当初計画額 a	変更計画額 b	実績額 c	差引 b-c	備考
	8報償費	講師等謝金	77,000	87,400	87,400	0	
	9旅費 (内部事務)	商談会・職員旅費	178,760	281,200	267,192	14,008	
	9旅費 (財務)	講師等費弁	168,000	315,856	315,856	0	
	11需用費	広報素材作成等	950,000	825,502	825,502	0	
	14使用料	マイクロバス借上げ料等	26,240	224,300	224,300	0	
	計		1,400,000	1,734,258	1,720,250	14,008	

	事業実績	事業の成果	評価
事業実績・成果	<p>1 果物狩り受入れ農園、体験メニュー受入れ団体等の受入態勢の整備</p> <p>①果物狩り受入れ農家・・・信州フルーツ王国等の4箇所を開拓 ②体験メニュー受入れ団体・・・みーるんウイレッジ等の5団体を開拓</p> <p>2 商談会への参加等</p> <p>①平成29年6月の県イナバウンド商談会(東京)に参加し、旅行関連会社19社と名刺交換や観光情報を提供 ②立山黒部アルペンルート商品提案会(台湾)及び台湾訪日教育旅行現地説明会(台湾)での果物狩りPRを観光部に依頼</p> <p>3 ファムトリップの実施等</p> <p>①平成29年7月に白馬村からのツアーを造成するため、松代の伝統文化、果物狩り等のコースを巡るファミトリップを実施 ②平成29年8月に、信越高原連絡協議会が主催した台湾の旅行会社のファミトリップに参加し、果物PRを実施 ③平成29年11月に、東京のランドオペレーター5社9名が参加し、りんご狩り、伝統文化体験、えびす講煙火大会をテーマとしたファミトリップを実施</p> <p>4 広報活動</p> <p>①平成30年2月に開催された東口フェスティバルに協賛し、外国人旅行者を対象に「ながの果物語り」と伝統文化をPR ②英語、繁体字版の「ながの果物語り」のパンフレットを制作し関係機関に配付</p>  <p>(台湾の高校校長のりんご狩り体験)</p> <p>5 講演会、情報交換会の開催</p> <p>①平成29年6月に上信越ふるさと街道協議会と共同で意識醸成、目線合わせをするための「講演会」を開催 参加者数70名 ②あわせて、接客の最前線に立つ観光案内所のスキルアップのため「情報交換会」を開催 参加者数35名</p>	<p>1 プロモーション活動により実施されたツアーに、計63名が参加</p> <p>①台湾の高校校長10名が、長野市松代でりんご狩りを体験 ②中国からの訪日団33名が、須坂市において、りんご狩りと伝統文化体験を実施 ③白馬村発、スノモンキー、みーるんウイレッジ(食事、いちご摘み、ケーキ作り)を巡るバスツアーを企画提案し、2ツアー20名が参加 県観光部の周遊型バスツアー支援事業を活用</p> <p>2 平成29年11月に実施したファミトリップにより、参加した旅行会社の担当者にツアー企画や観光情報を提案できる環境が整った。</p>  <p>(ファミトリップでのスムージーづくり体験)</p>  <p>(スノモンキーツアーでのケーキづくり体験)</p>	<p>○ 期待以上</p> <p>● 期待どおり</p> <p>○ やや下回る</p> <p>○ 期待以下</p>
今後の方向性	<p>1 下記の事業を平成29年度～31年度まで実施する。</p> <p>(1) 受入態勢の整備として、受入の農家、旅行会社受付窓口、体験メニュー等の拡大 (2) 近隣に滞在する外国人旅行者を誘客するため、バスツアーなどの旅行商品の拡大 (3) 首都圏から長野地域に滞在する周遊ルートを確認するため、受入態勢の整備、商談会でのPR、ファミトリップの実施を繰り返し実施し、首都圏からのツアーの商品化に繋げる。</p> <p>2 平成31年度までの事業成果を検証し、以降の事業を再構築する。</p>		